

天小だより

命輝き 笑顔あふれる 天神川小学校

令和7年7月16日

伊丹市立天神川小学校

校長 徳田 達郎 【天小ホームページ】



校内教育支援センター「ひだまりルーム」Q&A

天神川小学校では、「全ての児童の学習権を保障するための取組」の1つとして、校内教育支援センター「ひだまりルーム」を設けています。今回は、保護者の方からご質問の多かったものを取り上げ紹介いたします。

Q1:「ひだまりルーム」とはどのような場所ですか？

「ひだまりルーム」は、児童が「教室に行くのはちょっと…」となっているとき、家に閉じこもってしまうのではなく、学校に足が向かうリズムづくりをするための場所です。また、教室へ上がっていくためのエネルギーをチャージする場所です。

Q2:「ひだまりルーム」を利用するにはどうすればよいですか？

担任の先生、生徒指導担当の谷林先生、安井教頭先生のいずれかにご相談ください。

Q3:希望から、利用開始までの手順はどうなっていますか？

保護者の希望と児童の実態をふまえて、担任、学年、生徒指導担当、教頭、校長で、利用が可能かどうか検討します。その後、保護者、児童同席での面談を行い、ひだまりルームのルールや利用方法について説明します。利用開始後も、月に1回程度、利用状況に合わせて、利用の様子や今後の課題、改善点について保護者と面談を行います。

Q4:「ひだまりルーム」が開設されている時間は？

基本的に午前9時30分から午後1時30分まで開設しています。

Q5:「ひだまりルーム」は誰が見てくださるのですか？

不登校支援員、生徒指導担当教員、子どもサポーター(大学生)などです。

Q6:「ひだまりルーム」ではどのような活動ができますか？

ひだまりルームで児童自身が何に取り組みたいかを考え、計画表に記入して活動します。

具体的な活動内容の例としては、以下のようなものがあります。

- ①学習に関するもの
- ②読書
- ③ひだまりルームに置いてあるジグソーパズル、ボードゲーム、工作、卓球
- ④プランターや学習園で野菜の栽培

Q7:「ひだまりルーム」ではどのように学習をしますか？

①児童が自分で用意した教材で学習し、わからないことがあれば在室している教師が教えます。

(一斉授業は行いませんが、黒板やホワイトボードを使った指導は可能です)

②国語・算数の基本的なプリント(四則計算、ことばの学習、漢字など)を用意しています。

③学年相当の学力を保つために漢字・文法、四則計算・文章問題に取り組んだり、理科の実験動画を視聴したり、NHKforスクールを活用して社会の調べ学習をしたりできます。

④「ちびむすドリル」「みらいシード」などの教材も利用できます。

Q8:「ひだまりルーム」利用時の給食はどのようになりますか？

給食は、児童自身がクラスに取りに行き、食べ終わったら自分で返しに行くのが原則です。

クラスに行くのが難しい場合は、職員室前で受け取り、返却することなどもできます。

Q9:子どもの欠席が増えた場合、学校はどのような対応をしますか？

登校しぶりの傾向による欠席が1学期に10日を超えた段階で、担任、学年、生徒指導担当、教頭、校長で、今後の方針を検討するためのケース会議を行います。その後、保護者との面談を行います。面談では、児童や保護者の困り感に寄り添いながら、スクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーとの連携も視野に入れ、何から取り組んでいくのかを保護者と一緒に考えます。

いかがでしたでしょうか。ご質問がございましたら、担任の先生、生徒指導担当の谷林先生、安井教頭先生まで、お気軽にお問い合わせください。